

## 第 17 区

定数 17 名 候補者 17 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 掛地 吉弘 2. 1961/11/23  
3. 神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野  
4. 1987 年九州大学医学部卒業，九州大学第二外科入局，2012 年より現職，2017 年より日本学術会議連携会員，2022 年より日本外科学会理事，日本胃癌学会理事長。  
5. 外科学の臨床・研究・教育の更なる充実・発展を目指し，次世代の外科医が存分に活躍できる環境も整えていきたいと存じます。科学的な検証のもとに，効率的かつ有用な外科学の向上に努めます。  
6. 現職

1. 高尾信太郎 2. 1958/10/1  
3. 甲南医療センター  
4. 1984 年神戸大学医学部卒業，2007 年兵庫県立がんセンター乳腺外科部長，2008 年神戸大学乳腺内分泌外科教授（県との連携教授）兼任，2022 年甲南医療センター副院長兼乳腺外科部長  
5. 医師の働き方改革による時間外労働制限は，外科医の人材育成にとっては非常に厳しい状況をもたらす。タスクシフトを進め，地域医療施設との連携を推進強化し，外科医の人材育成を通じて外科学会に貢献したい。  
6. 現職

1. 池内 浩基 2. 1961/11/19  
3. 兵庫医科大学  
4. 1987 年兵庫医科大学卒業，第二外科入局  
2009 年兵庫医科大学下部消化管外科教授  
2013 年 同 炎症性腸疾患外科主任教授  
2019 年兵庫医科大学病院副院長  
2022 年学校法人兵庫医科大学理事  
5. Student doctor の時から，外科の魅力を学生に伝え，一人でも多くの学生が外科を選択してくれるように努力します。また，働き方改革が実行されますが，基準に準拠した職場づくりに努めます。  
6. 現職

1. 三好 康雄 2. 1959/5/25  
3. 兵庫医科大学病院 乳腺・内分泌外科  
4. 1984 年に大阪大学医学部を卒業し，第 2 外科に入局。関連施設での研修，英国留学を経て，大阪大学臨床遺伝学教室と乳腺・内分泌外科で助手を務める。2007 年に兵庫医科大学に赴任し，現在乳腺・内分泌外科教授。  
5. 卒業以来，外科医として臨床，研究に従事し，2002 年より外科専門医，指導医として外科医の育成に努めてきた。基盤学会である日本外科学会のさらなる発展のため，経験を生かして微力ながら貢献したい。  
6. 新任

1. 坂口 太一 2. 1967/3/12  
3. 兵庫医科大学 心臓血管外科  
4. 1992 大阪大学卒，2000 大阪大学大学院卒。  
1999 コロンビア大学，2007 大阪大学心臓血管外科，2012 心臓病センター榎原病院副院長，2018- 兵庫医科大学心臓血管外科主任教授  
5. 日本低侵襲心臓手術学会の代表理事として，低侵襲心臓手術の安全な普及に取り組んでいます。他の領域とも協調しながら，外科手術の低侵襲化に尽力したいと考えています。  
6. 現職

1. 池田 正孝 2. 1964/6/19  
3. 兵庫医科大学 下部消化管外科  
4. 1989 年大阪大学医学部卒，4 年間の初期研修，大阪大学病態制御外科研究生，1996 年から米国 Yale 大学留学，1998 年市立堺病院，2001 年大阪大学消化器外科，2012 年国立病院機構大阪医療センター  
5. これまでの外科医としての経験を生かし，日本外科学会の発展のため医師の働き方改革，若手の育成に貢献したいと思います。自身の専門分野の下部消化管外科領域での学術面での発展に寄与できればと考えております。  
6. 現職

1. 大植 孝治 2. 1960/6/24
3. 兵庫医科大学
4. 1985年3月31日 大阪大学医学部卒業  
1993年3月31日 大阪大学大学院博士課程卒業  
2007年4月 大阪大学小児外科講師  
2014年10月 兵庫医科大学小児外科准教授  
2016年1月 教授就任
5. 小児外科，なかでも新生児外科・小児悪性腫瘍の専門医として外科学会の発展に尽くしたいと思います。
6. 新任

1. 野口眞三郎 2. 1955/11/26
3. 兵庫県立西宮病院
4. 1980年阪大医卒，1980年大阪府立成人病センター，1982年箕面市立病院，1983年阪大病理病態，1985年大阪府立成人病センター，1998年阪大乳腺内分泌外科教授，2019年兵庫県立西宮病院長
5. 医師の働き方改革に対応するためには外科医の労働・教育研修環境の改善を更に推進する必要がある。医療現場に混乱を来さない推進策の策定に取り組み，外科が若手医師にとって魅力ある診療科となるように尽力したい。
6. 現職

1. 篠原 尚 2. 1964/6/1
3. 兵庫医科大学
4. 【経歴】平成元年 徳島大学医学部卒業，平成9年 京都大学医学研究科修了，同 日本学術振興会特別研究員，平成27年 京都大学消化管外科准教授，平成28年5月より兵庫医科大学上部消化管外科主任教授
5. 【抱負】低侵襲手術の精度を上げることに力を注ぎつつ，若い世代に手術の魅力を伝え，本邦における外科学の進歩と医療の発展に貢献したいと思います。
6. 現職

1. 村田 幸平 2. 1960/8/28
3. 労働者健康安全機構 関西労災病院 外科
4. 1986(昭61)年大阪大学卒。近畿中央病院外科，大阪大学大学院，米国留学(Yale大学およびVirginia大学)，大阪国際がんセンター消化器外科，市立吹田市民病院外科を経て，関西労災病院副院長。
5. 一般急性期病院における外科医の勤務環境改善を通して，未来を担う若手外科医のリクルート，育成に心血を注ぎます。また，新しい手術や治療法を開発できる「考える外科医」を育て，我が国の外科学発展に尽力します。
6. 現職

1. 貝原 聡 2. 1962/10/3
3. 神戸市立医療センター中央市民病院
4. 1987年京都大学医学部卒，医学博士。2000年京都大学医学部移植外科講師，2003年京都府立医科大学移植一般外科准教授，2007年神戸市立医療センター中央市民病院外科部長，2022年副院長
5. 外科医を目指す若手医師が減少している現在，市中病院の代表として将来を担う若手外科医を集め育成し，今後の外科学会の発展に微力ながら貢献できればと考え立候補いたします。宜しく申し上げます。
6. 現職

1. 岡田 健次 2. 1962/7/9
3. 神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 心臓血管外科分野
4. 1988年3月31日神戸大学医学部医学科卒業  
2014年11月1日信州大学・外科学教室・心臓血管外科・教授  
2018年10月1日～神戸大学大学院医学研究科・外科学講座・心臓血管外科学分野・教授
5. 若手医師のテクニカル，ノンテクニカルスキル向上のために尽力し，患者中心の医療の質向上に貢献したいと思います。英文誌編集委員を務めており，学術的な側面から外科学会を盛り上げていきたいと思っています。
6. 現職

1. 圓尾 文子 2. 1970/3/14
3. 兵庫県西播磨県民局龍野健康福祉事務所（龍野保健所）
4. 1995年神戸大学卒，県立淡路病院外科，高槻病院小児外科，兵庫県立姫路循環器病センター心臓血管外科のべ6年間，兵庫県立こども病院心臓血管外科9年間，加古川中央市民病院心臓血管外科7年間従事
5. 心臓血管外科で主に先天性心疾患患者手術を行ってきました。この度兵庫県職員として龍野保健所で公衆衛生医師として再スタートしました。行政の視点から外科学会の代議員として学会に協力したいと考えます。
6. 新任

1. 廣野 誠子 2. 1974/8/9
3. 兵庫医科大学 消化器外科学講座肝胆膵外科
4. 2000年に和歌山県立医科大学を卒業し，2008年に隣痛遺伝子研究で学位を取得。2014年に講師，欧米への留学を経て，2022年1月に兵庫医科大学消化器外科（肝胆膵外科部門）の主任教授を拝命しました。
5. 私は，卒前・卒後教育を通じて使命感の強い外科医の育成に尽力します。さらに女性外科医が次世代のリーダーになるように支援します。質の高い臨床研究で国際的エビデンスを発信し，日本の外科学の発展に貢献します。
6. 新任

1. 真庭 謙昌 2. 1965/8/22
3. 神戸大学大学院医学研究科外科学講座呼吸器外科学分野
4. 1990年神戸大学医学部卒業，2008年外科指導医取得，2012年神戸大学大学院医学研究科教授。
5. 知識および技能を併せ持つ国際性豊かな外科医の育成により，本会のさらなる発展に貢献したいと考えております。
6. 現職

1. 尾藤 祐子 2. 1968/10/23
3. 神戸大学医学部附属病院
4. 1993年3月 東京大学医学部医学科卒業  
2001年6月 医学博士号取得  
2007年4月 兵庫県立こども病院医長  
2015年6月 神戸大学病院小児外科准教授  
2021年5月 神戸大学外科学講座小児外科教授
5. 外科医の人材育成に注力し，専門分野として小児外科医療と小児外科学問の発展へ努力します。患者の人生と健康を第一に，外科医の人生も同様に大切にすることを考え現存の様々な課題を克服するよう行動します。
6. 現職

1. 福本 巧 2. 1960/6/8
3. 国立大学法人神戸大学（大学院医学研究科 教授（肝胆膵外科学分野））
4. 2017年より神戸大学大学院医学研究科 教授（肝胆膵外科学，診療科長）。肝胆膵疾患の手術治療，臓器移植，難治性進行癌の独自技術を用いた先端治療を行うとともに，外科学の進歩のため研究を推進している。
5. 神戸大学医学部附属病院および医学研究科において診療，教育，および研究を推進し，加えて外科医の労働環境の改善に務めることにより，外科学の進歩と日本外科学会の発展に寄与し人々の幸福に貢献したい。
6. 現職